
4つの鍵

氷雨滴る

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

4つの鍵

【Zマーク】

Z6640M

【作者名】

氷雨滴る

【あらすじ】

はてさて現の世迷い言

聞いたか聞かざるか、曖昧な世界の一欠片

昔むかし、あるところに4つの鍵がありました。

それぞれ、形も色も材質も違つておりました。

鍵の1つは錆びた鍵。どんな扉でも開けてします。

2つ目の鍵は真っ白な鍵。大きなお城で使われる大理石のように真っ白です。この鍵はどんな扉でも閉めてしまします。

鍵の中で最も美しい装飾がされている3つ目の鍵は、まるで羽のように重さがありません。その鍵はとても神秘的で、なんと心の扉を開けてしまうのです。

最後に残った4つ目の鍵。何のへんてつもありません。鉄でできた丸い輪に、尖端が曲がった棒の部分がくつついでいるだけ。しかしこの鍵、どんな扉にもはまりません。扉を開けることも、閉めることも、不思議な力も持ちません。ただ、そこにあるだけでした。

これが昔から今に伝わるお伽噺。
不思議な不思議な伝説です。

4つの鍵がありました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6640m/>

4つの鍵

2010年12月31日01時57分発行